

## 函館市福祉のまちづくり施設整備費補助金交付要領

(目的)

第1条 この要領は、函館市福祉のまちづくり施設整備費補助金交付要綱（以下「要綱」という。）の施行に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(補助の対象者)

第2条 要綱第4条に掲げる「市税の納税状況が良好な者」とは、補助金の交付申請時点で市税の滞納がない者をいう。

(補助対象額)

第3条 要綱第5条第1項に掲げる「対象工事の施工に要する経費」とは、工事費、設計費、監理費およびその他市長が特に必要と認める経費とする。

(申請時に添付すべき書類)

第4条 要綱第6条第2項第4号に掲げる「その他市長が必要と認める書類」とは、次に掲げるもののほか、市長が指示する書類をいう。

(1) 基準適合確認表（別記第1号様式）

(2) 工事施工箇所の現況写真

(交付決定後の契約の締結等)

第5条 要綱第7条に定める別記第2号様式の通知書を受領した事業者は、速やかに施工業者と工事請負契約を締結し、工事を施工するものとする。ただし、軽易な工事であって市長が認める場合は、請書等をもって契約書に代えることができる。

(変更等の申請)

第6条 事業者は、要綱第8条第1項に定める別記第4号様式の申請書を提出する場合、必要に応じて次に掲げるもののほか、市長が指示する書類を添付しなければならない。

(1) 変更後の設計図面

(2) 変更後の見積書

(3) 基準適合確認表（別記第1号様式）

(実績報告)

第7条 事業者は、工事が完了した日から起算して30日以内に、要綱第9条に規定する別記第9号様式の報告書を市長に提出しなければならない。

2 要綱第9条第2項第1号に掲げる「対象工事に係る費用が確認できる書類」とは、第5条の規定により契約書または請書等を取り交わした施工業者からの請求書の写しとする。

3 要綱第9条第2項第4号に掲げる「その他市長が必要と認める書類」とは、次に掲げるもののほか、市長が指示する書類をいう。

(1) 工事請負契約書または請書等の写し

(2) 補助金受け入れに係る銀行口座申出書（別記第2号様式）  
（領収書の提出）

第8条 事業者は、工事請負費の支払後、支払を証する領収書の写しを市長に提出しなければならない。

附 則

この要領は、平成15年8月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成24年12月21日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年5月10日から施行する。

附 則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

函館市福祉のまちづくり施設整備事業基準適合確認表

工事名

整備項目	整備の基準の内容	設計内容	適合状況
1 出入口	内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	戸を設ける場合は、自動開閉し、または車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉式)	合・否
	車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
2 廊下等	粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	内のり幅120cm以上	(幅) cm	合・否
	車椅子が転回できる部分を末端付近および50m以内ごとに設置		合・否
	高低差がある場合は、傾斜路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設置	(講じた措置)	合・否
	出入口ならびに4の項のエレベーターおよび特殊構造昇降機の昇降路の出入口に接する部分が水平		合・否
	視覚障害者誘導用床材の敷設または音声誘導装置等の設置	(講じた措置)	合・否
	傾斜路は内のり幅120cm以上（段を併設する場合は、90cm以上）	(幅) cm	合・否
	傾斜路は勾配12分の1以下	(勾配)	合・否
	傾斜路は高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場の設置	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否
	段または傾斜路および踊り場に手すりの設置		合・否
	傾斜路は粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	傾斜路が踊り場および廊下等と識別しやすい	(講じた措置)	合・否
傾斜路の上端に近接する廊下等および踊り場の部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否	

整備項目	整備の基準の内容	設計内容	適合状況
3 階段	手すりの設置		合・否
	回り段を設けない		合・否
	粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
	階段の上端に近接する廊下等および踊り場の部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否
4 エレベーター (新設・改修)	籠の床面積1.83㎡以上(学校等除く。)	(床面積)      ㎡	合・否
	籠の奥行き(内のり)135cm以上	(奥行き)      cm	合・否
	籠は、車椅子の転回に支障がない形状(学校等除く。)		合・否
	籠内に停止予定階および現在位置の表示装置の設置		合・否
	籠内に到着階および戸の閉鎖を知らせる音声装置の設置		合・否
	籠および昇降路の出入口の内のり幅80cm以上	(幅)      cm	合・否
	籠内および乗降ロビーに車椅子使用者用制御装置の設置		合・否
	籠内および乗降ロビーに視覚障害者が円滑に操作できる制御装置の設置		合・否
	乗降ロビーに制御装置の位置を知らせる視覚障害者誘導用床材の敷設(学校等除く。)		合・否
	乗降ロビーの幅および奥行きの中のり150cm以上	(幅)      cm (奥行き)      cm	合・否
	乗降ロビー等に昇降方向を知らせる音声装置の設置		合・否
籠内に鏡の設置(学校等に限る。)		合・否	

整備項目	整備の基準の内容	設計内容	適合状況
5 便所 (新設・改修)	車椅子使用者用便房の設置	(設置数)	合・否
	車椅子使用者用便房および便所の出入口の内 のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	出入口に戸を設ける場合は、車椅子使用者が 円滑に開閉して通過できる構造	(開閉式)	合・否
	段がない	(最大段差) cm	合・否
	手すりの設置		合・否
	粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
6 駐車場	車椅子使用者用駐車施設は、建築物の出入口 からの距離ができるだけ短くなる位置に設置		合・否
	幅員350cm以上	(幅員) cm	合・否
	車椅子使用者用である旨の見やすい表示	(表示方法)	合・否
	駐車場内の通路は粗面またはぬれても滑りに くい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	駐車場内の通路は幅員120cm以上（共同住宅 および寄宿舍を除く。）	(幅員) cm	合・否
	駐車場内の通路に高低差がある場合は、傾斜 路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設 置	(講じた措置)	合・否
	駐車場内の通路の傾斜路は内のみ幅120cm以 上（段を併設する場合は、90cm以上）	(幅) cm	合・否
	駐車場内の通路の傾斜路は勾配12分の1以下	(勾配)	合・否
	駐車場内の通路の傾斜路は高さ75cm以内ごと に踏幅150cm以上の踊り場の設置	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否
	段または傾斜路および踊り場に手すりの設置		合・否
	駐車場内の通路の傾斜路は粗面またはぬれて も滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	傾斜路が踊り場および駐車場内の通路と識別 しやすい	(講じた措置)	合・否
	駐車場内の通路に排水溝を設ける場合は、つ え、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造 の溝蓋の設置		合・否

整備項目	整備の基準の内容	設計内容	適合状況
7 敷地内の通路	粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	幅員120cm以上	(幅員) cm	合・否
	高低差がある場合は、傾斜路およびその踊り場または特殊構造昇降機の設置	(講じた措置)	合・否
	視覚障害者誘導用床材の敷設または音声誘導装置等の設置	(講じた措置)	合・否
	車路に接する部分、車路を横断する部分ならびに傾斜路および段の上端に近接する部分に点状注意喚起床材の敷設		合・否
	傾斜路は内のり幅120cm以上（段を併設する場合は、90cm以上）	(幅) cm	合・否
	傾斜路は勾配12分の1以下	(勾配)	合・否
	傾斜路は高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場の設置	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否
	段または傾斜路および踊り場に手すりの設置		合・否
	傾斜路は粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	傾斜路が踊り場および敷地内の通路と識別しやすい	(講じた措置)	合・否
	排水溝を設ける場合は、つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋の設置		合・否
8 洗面所 (新設・改修)	粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	車椅子使用者が円滑に利用できる高さの洗面器の設置	(設置数)	合・否

整備項目	整備の基準の内容	設計内容	適合状況
9 浴室等	出入口の内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	出入口に戸を設ける場合は、障害者、高齢者等が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)	合・否
	出入口に障害者、高齢者等の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	出入口に戸を設ける場合において、戸にガラスを使用するときは安全な材質		合・否
	手すりの設置		合・否
	粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
10 シャワー室等	出入口の内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	出入口に戸を設ける場合は、車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)	合・否
	出入口に車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	手すりの設置		合・否
	粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否

整備項目	整備の基準の内容	設計内容	適合状況
1.1 観覧席等	車椅子使用者用席に至る通路に車椅子使用者の通行の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	高低差がある場合は、傾斜路およびその踊り場の設置	(講じた措置)	合・否
	傾斜路は内のり幅120cm以上（段を併設する場合は、90cm以上）	(幅) cm	合・否
	傾斜路は勾配12分の1以下	(勾配)	合・否
	傾斜路は高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場の設置	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否
	傾斜路およびその踊り場に手すりの設置		合・否
	傾斜路は粗面またはぬれても滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	車椅子使用者用席の床は水平		合・否
	車椅子使用者用席は、幅90cm以上、奥行き110cm以上	(幅) cm (奥行き) cm	合・否
1.2 公衆電話所	出入口の内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	出入口に戸を設ける場合は、車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造	(開閉方式)	合・否
	出入口に車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	車椅子使用者が円滑に利用できる高さの電話台の設置	(設置数)	合・否
1.3 カウンター等	車椅子使用者が円滑に利用できる構造のカウンター等の設置	(設置数)	合・否
1.4 案内標示	高さおよび文字の大きさその他の表示内容に配慮し、障害者、高齢者等が円滑に利用できる案内標示板の設置	(設置数)	合・否



整備項目	整備の基準の内容	設計内容	適合状況
15 改札口等	内のり幅80cm以上	(幅) cm	合・否
	車椅子使用者の通過の支障となる段がない	(最大段差) cm	合・否
	粗面または滑りにくい材料仕上げ	(仕上げ材)	合・否
16 授乳およびおむつ替えの場所	授乳およびおむつ替えのできる場所（ベビーベッド等付設）の設置ならびに出入口付近にその旨の表示	(設置数)	合・否

別記第2号様式（第7条関係）

函館市福祉のまちづくり施設整備費補助金の受け入れに係る銀行口座等申出書

年 月 日

函館市長 様

申請者 住所 ( )  
氏名 ( )

函館市福祉のまちづくり施設整備費補助金の受け入れに係る銀行口座等について、次のとおり申し出ます。

住 所	〒										
	-										
商 氏 名 号 ( 氏 名 )											
代 表 者 名 職 氏 名											
電 話 番 号	( ) -					F A X	( ) -				
金融機関コード	店 番 号		預 金 種 別			口 座 番 号 (右づめ)					
			普通・当座・その他 ( )								
金 融 機 関 称 名	銀行 金庫 本支店										
フリガナ											
口 座 名 義											

※1 住所・商号・代表者氏名

正確に記入してください。なお、支払のある場合には口座振込通知書（支払案内書）を郵送しますので、住所欄には方書まで記入してください。

※2 振込先

(1) 金融機関コード

下記金融機関コード表のコードを記入してください。該当するコードがない場合は記入しないでください。

金融機関名	コード	金融機関名	コード	金融機関名	コード
みずほ銀行	0001	函館信用金庫	1012	北海道信用農業	
北海道銀行	0116	渡島信用金庫	1013	協同組合連合会	3001
青森銀行	0117	江差信用金庫	1014	函館市亀田農業	3066
みちのく銀行	0118	商工組合中央金庫	2004	協同組合	
北陸銀行	0144	函館商工信用組合	2017	北海道信用漁業	9450
北洋銀行	0501	北海道労働金庫	2951	協同組合連合会	
札幌銀行	0502	新函館農業協同組合	3068		

(2) 店番号

お手持ちの通帳に表示されている番号を3桁で記入してください。

(記入例) 1 → 

0	0	1
---	---	---

(3) 預金種別

該当する預金種別に○を付けてください。

(4) 口座番号

お手持ちの通帳に表示されている7桁の番号を記入してください。

(5) 金融機関名称

金融機関名と支店（支所）名を記入してください。

※3 口座名義

(カナ)・通帳の口座名義がカタカナで表示されている場合は、そのまま記入してください。

・通帳の口座名義がカタカナで表示されていない場合、カナで記入してください。

※記入上の注意

- ・ だく音（<sup>˘</sup>）や半だく音（<sup>◌</sup>）は、1マス使って記入してください。
- ・ 法人名で登録している場合は、法人の種類（カブシカイ等）と法人名、法人名と役職名、役職名と個人名の間をそれぞれ1マス空けて記入してください。
- ・ 個人名の性と名の間は1マス空けて記入してください。
- ・ 枠に入りきらない場合は漢字欄の下の余白に記入してください。

(漢字) 口座名義を漢字で記入してください。